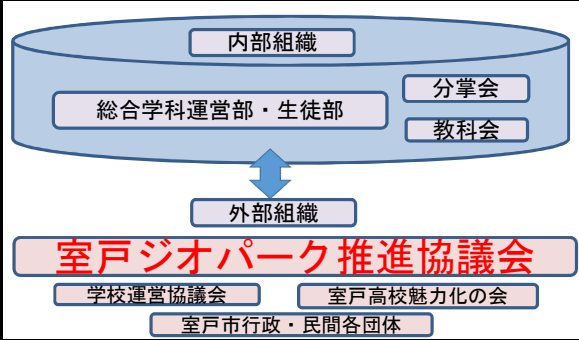


こんな活動です

持続可能な社会の担い手を育む教育の実践 — 室戸世界ジオパークとともに —

高知県室戸市		●活動名 室戸高校地域協働学習			●関係する学校名 高知県立室戸高等学校		
協働活動開始年度	平成 23 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	6 学級	のべ児童・生徒数	93 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習		地域人材育成			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		3人	
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携		有	
参考URL	http://www.kochinet.ed.jp/muroto-h/						
●連絡先	高知県立室戸高等学校			☎ 0887-22-1155			

●体制図



●活動の概要・経緯

本校では、地域に信頼される学校づくりをめざし、ユネスコ世界ジオパーク認定地である室戸市と協働し、生徒会、ボランティア活動や地域活性化など学校をあげ地域貢献活動に取り組んできた。これらの活動をさらに充実・発展させるため、令和元年度から、文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の指定を受け取り組んでいる。特に、室戸ユネスコ世界ジオパークの持続可能な資源を活用し、ESDの視点で地域貢献につながる取り組みを実践している。生徒と地域が元気になり、世界ジオパークを通して日本国内だけでなく、他国と交流し、室戸のすばらしさを伝え、広める活動を通して、世界で活躍できる人材の育成を目指している。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- 1 特色ある科目の設置 地域課題解決に取り組むことができる特色ある科目を設置して地域学習の機会を確保
 - (1)産業社会と人間(1年次に室戸の魅力を理解することを目標に外部講師を活用した授業を展開)
 - (2)統・産業社会と人間(2年次に地元企業で全員が職場体験を行い、地元の人との交流を深化)
 - (3)課題研究(3年次に自分が興味関心がある分野の課題を見つけ、課題解決する)
 - (4)ジオパーク学(2年次に室戸ユネスコジオパークに関する課題を見つけ、課題解決する)
- 2 地域との連携 室戸ジオパーク推進協議会、学校運営協議会、地元企業、団体と協働し、教育を推進

【実施に当たっての工夫】

- 1 ジオパーク推進協議会、地元企業と連携し、授業に外部講師を招へい
- 2 知る・気づく・探究する・表現するという学習プロセスを徹底
- 3 企画したもの、考えたことは発表会を開催し、地域に広めて企画を実現につなげる
- 4 すべての教育活動を地域貢献につなげるという学校全体のスローガンの掲示
- 5 学校運営協議会、室戸高校魅力化の会等外部の応援団からの適切なアドバイスをもらう
- 6 地域の大会場で総合学科発表会を実施し、各教科の代表が中学生や大人に室戸高校の取組を発表する機会も設定

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

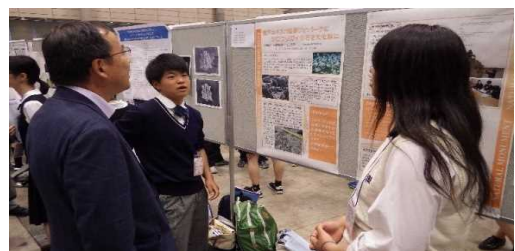
1年次から地域の魅力を知り課題を解決する学習活動を地元の方々の協力を得て行うことができた。2年次の「統・産業社会と人間」の授業に円滑に連結させるとともに、学校設定科目として開設している「ジオパーク学」の授業では、ジオパークを活用した課題解決学習をより発展させた。さらに3年次の「課題研究」では、生徒が自分で決めたテーマについて調査・研究し、様々な課題の解決に取り組み、その成果を発信することで、多様な他者との関わりの中で自己の将来の生き方や進路について深く考えることができています。生徒会活動や家庭クラブなどの特別活動、学校行事、地域行事への参加、部活動、教科など、すべての教育活動が地域の活性化に運動し、地域を元気にする源となった。

●その他

本年度は、室戸ユネスコ世界ジオパーク認定のために高校生の地域貢献活動を英語で発表した。また、地域の国際交流活動推進のために、マレーシアの高校生とジオパークの発展について協議するなど、海外交流を開始した。



の室戸ユネスコ世界ジオパーク地調査



財全「に活ジ」に動オ「ーパ」につ「シ」い「ロク」て「ウ」学「リ」研究ガ「イ」お「を」ける「文」化保